



TITLE:

質疑應答

AUTHOR(S):

---

CITATION:

質疑應答. 地球 1928, 9(5): 393-396

ISSUE DATE:

1928-05-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183428>

RIGHT:

希臘正教に壓服されてゐたが、大戦のため勞農政府になつて無宗教を標榜して教習に暴力を加へた、やがてリトワニアが獨立した後もこの無宗教の風が國內を風靡したので、狀況不利と見た同國の新教法は移住を企て、一九二二年八月二十名の視察員を伯國に送つた、そこでこの視察員はサンパウロ州にきてリオドハツシエ河の右岸に約二千アルケールの土地を購入して、同年十二月先發隊四十家族が渡來した、さうしてこゝに共產植民地を建てた、彼等の間には醫師、測量師職工、牧師、資本家、勞働者等あらゆる階級のものゝ居つたので、出てくると日ならずしてステーションから植民地の間三十軒の間に自動車道路を開き、地區設定をして四通八達之地にした、これは植民地共同資本で從事者には無報酬であつた。先發四十家族の中には資本の人もあつたが中には渡航費の支辨に事を欠いたものもあつたが、立替でもらつた。開拓第一期が終ると、其一部分は共同生活から脱退して、其共有地附近に各自地區を購入して家屋を建て、醫師は開業し、商人は店を開き農家は土地の開拓に従ひ、資本家は工場を經營したが、數百人の人々は多くは共同植民地に生活して創業後五ヶ年にして製材工場一、發電所製粉所一、教會兼學校一、病院一、粗糖製造所をたてた、鹽、砂糖、石油、衣服地を除いて、すべての食糧は自給自足し、禁酒禁煙を嚴守して、日曜毎に一家をあげて教會に參拜するといふ宗教生活をやつてゐる。

家屋でも既に永久家屋で庭には花卉を植えたりしてゐる。

## 質疑應答

日本人植民地のやうに數年をへても未だ茅屋に住し家の軒下をも畑としてゐるやうな極端な現實主義でなく、開拓地でも日本人ならば金山悉く畑にするが、こゝはさうでなく處女林を大事にしてのこしてゐる、一家族平均一二アルケールの畑を耕して牧畜を兼ねてゐるから、日本人のやうに苦しまずに生活を樂んでゐる。

、共同生活の植民地は將來にわたつて本國から新渡航者の足溜りにして解散しないでおく、しかも其利益分配といふやうなことは考へずに行くといつてゐる。コーヒー栽培には不適な地であるけれども、さうしたことは無頓着になつて働いてしかも着々成效して、信仰の自由を樂むといふ風である。

植民團に醫師が二名も居り、牧師ジョアンインキスが部落長となつて統括してゐる點など誠に羨むべきものがある。我國の植民計畫者及渡航者の團體もかうした實例を見て殺風景な移民にならずに、餘裕のある生活をして土着を樂むやうにあらせたいものである。

## 質疑應答

「問」ミシシッピ河流域について承りたし 京都 S 生

「答」ミシシッピは北米の最も大きな河であり又實に世界最大の河の一つであつて長さに於てはナイル、水量に於ては大アマゾンが之に勝るのみである。その名はアルゴンクイン語

で「大きな川」又は「流れの父」と云ふ意である、此の河自身は又米國民の最も貴重な天然の所有物と云はれてゐる、その水源は詩人に取つて華胥の國であり、スペインやフランスの所有した時代には海賊の巢窟であつた、その三角洲は地質學者に取つては古くより靈感的なフィールドである。

一寸考へるとミシシッピは商業上合衆國の最も重要な川であると思はれる。實に大汽船は四季を通じてセントルイス迄航行し得、更に小さな船は河口から二千哩上なるセントポール迄一年の大部分の間航行し得るのである。併しミシシッピが商業上の目的に對する一つの難點はそれが悪い方向に流れてゐると云ふ事である。例へばハツチントン及カツシング兩氏がモダンビシネスジョグラフィに述べた如く之が東流して大西洋の海岸に出たならば世界に於ける最も繁劇な川となつたであらう。

ミシシッピは區切つて發見された程長い川である。スペイン人デソトは千五百四十一年五月八日チツカソー、ブラツフで此の川に出逢ひ之をリオ、グランドと名付けた、その翌年彼の仲間がアーカンスス川の合流點からメキシコ灣迄航行した。佛人グロセイリーとラザソンとは更に千六百六十五年頃ブレイリード、シアンの近くで之を發見したと思ひ更に北方レツド、ウイニング迄探検した。併し此の大河を實際に知らしめたのはデヨリー及バールマーケツトであつて彼等は千六百七十三年に五大湖を通り彼等の先人のなした如くウイスコンシン川を下りミシシッピへ出て、それより南、アーカンスス

川の合流點迄行き、その途中でミヅリー及オハイオの河口を發見した、九年後ラ、サールはメキシコ灣迄川を下り、之をルイジアナと命名し、佛國王の名に於て此の川及其の周圍の地方を所有した。合衆國は千八百三年ナボレオンが英國と紛争中に此の權利を一億四千四百萬弗にて買収した、かくして合衆國はミシシッピの河口より水源地迄の所有を確保しニューヨーク州の二十六倍の廣い領土を加へ得た。

スカール、クラフトは千八百三十二年七月十三日に此の川の源がミネソタ州の湖だと考へて、之にイタスカと命名した併し此の邊は沼澤地であつたので實際の源は後にイタスカ湖より七哩上のリツトル、エルク湖であることが發見された、ミネソタは加奈太と合衆國の分水界であつて、その最高地は一千六百八十呎に達する、此の高地からの水は東に五大湖地方、北にレツド川に入り、南はミシシッピに流れ込む、イタスカ湖は千四百六十呎の高度を有してゐて此處からミシシッピは二千四百五十二哩流れてメキシコ灣に入る。

イタスカ湖からミシシッピの河道は不規則な氷河湖の迷路を通り多くの急湍や瀑布をなして氷河堆積物で厚く蔽はれた土地を流抜ける。最初の著しい急湍と瀑布はミネアポリスのセント、アントニーに於るもので八十呎の落差がある。又航行の上端であるセント、ポールで六百八十三呎に下る迄其の距離は五百三十四哩である、之より流路は規則的になり自然の障害は唯二ヶ所になる。即ちノーブールとケオロツクの間に於る急流と十四哩續いてその間に二百六十呎の高度差あるロ

ツク、アイルランドの急流が之である、併し之等の場所には今は航行の爲の堰や水力發電所や運河がある、セントポールよりクオロツクに至る間は景色がすぐれてゐて、多少高い崖があつて此の川に沿つた最古の町である、ブレリードウシアンの下では崖の高さは六百呎に達する。

イリノイス州のカイロでは川は海面上二百二十七呎で直ぐに幾列かの盆地の間を大きな三日月湖状をなして、あちらの崖からこちらの崖へと次第に廣く蛇行し始める、メニフィスの下流では實にミシシッピはアメリカに於る最も曲りくねつた川と稱される。アーカンサスのレッド河はミシシッピに河口より三百哩上流の地點で合する、之から下は僅に三呎下の丈であるが、流は強い、メキシコ灣の潮の干満は一乃至二呎で二百四十哩溯つたバトン、ルーガ迄上る此の邊では幾つかの分流があつて洪水の際に過剰の水を流すのを助けてゐる、南部ルイジアナでは河道は再び眞直になり、川はそこで受ける以上の碎屑物を堆積する、その結果洪水で西側に幅の廣い緩斜した堤を作る、堤に沿ふては四近の沼澤地を通る川が流れる、實にこのより高い非常に肥沃な沖積地はオハイオの河口から三十八哩上の所で始まりミシシッピの河口のバツセス迄千百里の間續いてゐる。之等川の西側の沖積地は幅一哩迄は約七呎傾斜してゐるがそれ以上川を離れると一哩につき凡六吋の割合で傾斜してゐる。

人工の堤防の出来る前はミシシッピの上流は洪水時には二十乃至九十哩の廣さを有し、氾濫した面積は全體で三萬平方

哩に及んだ、現今之等の貴重な土地は千五百七十哩の堤防で保護され洪水時の川幅は五哩に縮少された、併しその際の水は堤防のなかつた時に比し十呎も高くなつた、一年間に一回以上洪水のある事もあるが普通は數年乃至それ以上を隔てゝ起る、千九百十二年の洪水は一秒間に二百三十萬立方呎の割合でメキシコ灣に流れ込んだと云ふ記録を有する、又千九百二十七年には此の川の歴史中最大の洪水がその下流の諸州に類のない大災害を與へた。

ミシシッピ下流の氾濫原には互に聯絡してゐる多くの分流や水路が通じてゐて、淺い吃水の船は航行し得る。此の水路は幾哩も非常に肥えた沖積地中を本流に併走して居る。この點はこのアメリカの大河の特徴であつて、世界の他の河に見ない例である。

此のすばらしいミシシッピ河系は數百の川から成り立つてゐて之等の水の殆んど全部はメキシコ灣からの水蒸氣に依つて出来るもので再びそこへ碎屑物と鹽分を持つて戻つて行くのである。此の複雑な流域の盆地は合衆國面積の四十一%を占めアパラキア山脈からロツキー迄又セントローレンスからメキシコ灣迄擴つてゐる。(百二十一萬七千七百平方哩)

ハドソン河の主な仕事は船を浮べる事であり、ミシシッピのは大きな水路を供給する事の外に下流に土砂を堆積して農業に重大なる寄與をなす事である。之等の沖積地の肥沃さは費し切れぬ程である。その南部では莫大な米と甘蔗を産し三十一度三十分より北五度の間は綿がそれより上流地方に比し

て二倍量も收穫される。氾濫原は二千三百萬英畝<sup>エーカー</sup>の生産地を有すと評價され地理學に知られてゐる同様な肥沃さを有する土地の最大なものであつて洪水の爲に五回の收穫の中一回を失ふも尙ほ農夫は利益を残すと云ふ事である。

ミズリーはミシシッピの主な支流であつて、實際此の河系はミズリー河系と呼ばれるべきである、何となればその源からメキシコ灣迄は二千四百五十二哩でなくて約四千二百哩に達するであらう、ミズリーは一部はイエローストン國立公園から發する、此の水源地からの水は北に流れてミズリーを経てメキシコ灣に、西南はスネーク河となりアイダホ、コロンビアを通り南流して太平洋に入り、南はグリーン河及コロラド河となつて下カリホルニアの灣に注ぐ。ミズリーは何百哩もの間崩れ易い土で出来た乾燥平原地方を流れて泥を持ち込む爲にミシシッピはその合流點から下流は泥質で暗黒色の流になる。普通ミズリーは重量にして千分の一の泥を含んでゐるが洪水の時には十倍にも増加する。ミズリーが毎年ミシシッピに運び込む泥の量は四億立方碼でミシシッピがメキシコ灣に持ち込む泥の量も亦此の位なのである。

ミシシッピ河系の殆んど全部の川は下刻河であるが支流の一つは堆積河の著しい例を代表してゐる。それはブラット河で比較的急で且極めて眞直な河道を有するに係らずその河床を作りながら之を高めつゝあると云ふ奇妙な川である、此の外見上の不合理は一年全體を通じて考へて見ると、過重荷川である事に基因してゐる。即ち運び去り得る以上の土砂を供給されてゐる。ブラット河の水量には非常に變化がある、諸山の雪の融ける時即ち五、六月は浅い川が一哩も廣くなり砂は

下流へ流される。併し一年の大部分その上部及中部は半乾燥地帯を流れて殆んど又は全く水がない。

ミシシッピの東側の最大の支流で且本流自身よりも商業上重要な川は風景の勝れたオハイオ河である。此の川はニューヨークからアラバマに至りアレガニー高原の大部分の水を集めてゐる、此の地方は雨量が多い爲にオハイオはミシシッピがメキシコ灣に注入する水の四分の一を供給してゐる。此の河を始めて見たのはラ、サールらしく彼は千六百七十年にアレガニーから之を下つてルイスビルのオハイオの瀧迄下つた彼の同國人にはオハイオはラ、ベル、リビエールとして残つてゐるが英人の移住者は千七百五十年アラバキアを越えて來て土人名の *Ochone* (美しき川) をオハイオと變へた。彼等を取つてその西進の途には唯一つしか川がなく之が即ちオハイオであつた。そして此の川及その支流に沿つて彼等は新しい帝國を建設しその驚異な征服を續けた、かくてオハイオの北の地方は西北領土となつたが一方ヴァージニア人は更に南の方の支流に出逢つてそこに西南領土を建設した。

ピッツバーグでは遅くも千八百十八年には石炭が採掘され使用されてゐて、一世紀とたたない間に此の都會は九千萬噸を越える石炭と鐵製品をオハイオから船で送り出す様になつた。一隻の船尾外輪汽船は下りて長さ十一哩の列車に積み得る石炭及鐵を分け積んだ船を曳く事が出来る、此の經濟的な運搬法と安價な石炭の多量に存在する結果ピッツバーグ地方は合衆國の四分の一の銑鐵四分の一の鋼鐵六分の一の硝子三分の一のコークス及その他の貨物を産し、その年額二十億弗に達する。先見の明のあるアンドリュウ・カーネギーがオハイオの谷を世界の仕事場と見たのは殆んど不思議な事ではない(シユカートに據る、T生)